

VI. 派生商品取引の取引相手のリスク

1. リスク管理の方針及び手続

当行の派生商品取引にかかる取引相手の信用リスクに関しては、オン・バランス取引と合算しオン・オフ一体で管理しております。

金融派生商品については、時価評価により算出した再構築コスト（ただし、零を下回らない）に、想定元本に取引の区分、残存期間の区分に応じた掛け目を乗じた金額を加えた額を与信額としております（カレント・エクスポージャー方式）。金融機関との取引では、与信集中回避・リスク分散を図るため、相手先毎にオン・バランス与信と合算した与信限度額を設定して管理しております。

なお、当行では派生商品取引に係る保全や引当の算定は行っておりません。

2. 与信相当額の算出に用いる方式

先渡、スワップ、オプションその他の派生商品取引の与信相当額はカレント・エクスポージャー方式にて算出しております。

3. グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額

（単位：百万円）

	平成18年度
連 結	2,170
単 体	2,170

4. 与信相当額

与信相当額は、グロスの再構築コストの額及びグロスのアドオンにより算出しております。担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する取引はありません。

【連結】

（単位：百万円）

種類及び取引の区分	平成18年度		
	グロスの再構築コスト (A)	グロスのアドオン (B)	与信相当額 (A) + (B)
派生商品取引	2,170	7,545	9,715
外国為替関連取引	1,667	6,806	8,473
金利関連取引	503	739	1,242
その他の派生商品取引	—	—	—
クレジット・デリバティブ	—	—	—
合 計	2,170	7,545	9,715

【単体】

（単位：百万円）

種類及び取引の区分	平成18年度		
	グロスの再構築コスト (A)	グロスのアドオン (B)	与信相当額 (A) + (B)
派生商品取引	2,170	7,545	9,715
外国為替関連取引	1,667	6,806	8,473
金利関連取引	503	739	1,242
その他の派生商品取引	—	—	—
クレジット・デリバティブ	—	—	—
合 計	2,170	7,545	9,715

（注）原契約期間が14日以内の外国為替関連取引の与信相当額は上記記載から除いております。